

## 項目別評価表に関する各委員からの指摘事項及び修正点

平成19年7月31日  
北方領土問題対策協会分科会事務局

| 該当ページ | 指摘事項   | 修正前                           |   |   |   | 修正後      |                               |  |
|-------|--|-------------------------------|---|---|---|----------|-------------------------------|--|
|       |  | 評価指標                          | 評価基準  |   |   | 評価指標     | 評価基準                          |  |
|       | 事業の総括・見直し内容を評価基準としているのは、それが評価対象となる会議の目的であるからだという事務局の説明を受け、『評価指標の中に会議の目的は達成したかと書くべきで、そして評価基準の方はA B C Dに分かれるならばそれを達成度に応じて達成しているか、しないかで評価すべき』との意見を委員よりいただいたため、次のとおり修正することとする。 | 事業の総括・見直し内容                   | 18年度事業を総括した結果見直すべき課題は見つかったか。<br>見直し内容は妥当であるか。 |   |   | 会議の目的の達成 | 会議の目的を達成することが出来たか。            |  |
|       | リスク管理債権については、貸付条件緩和債権のように回収を円滑に進めるためにむしろ必要なものもあり数量的な基準のみによって評価を行うことは困難、数量的な評価を行う場合にも他の金融機関の状況なども考慮して評価してほしい等の申し出を協会から受け、次のとおり修正することとする。                                    | リスク管理債権額の状況<br>左記項目( )について( ) | A   | B | C | D        | リスク管理債権額の状況<br>左記項目( )について( ) | ・17年度末残高より減少しているか。<br>・社会状況及び独立行政法人からの説明をふまえ、分科会において協議することにより判断する。 |

リスク管理債権額について、債権回収により、平成17年度末残高以下に抑制する。